

「高知県橋梁会平成 21 年度第 3 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 西川 準二

2009 年 12 月 16 日（水）、高知市本町にある高知会館（飛鳥の間）において、土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催により、本年度第 3 回目の研修会が開催された。

当日は会員や関係企業、高知工業高等学校の生徒など 57 名が参加し、5 テーマの講演を熱心に聴講し、最後に 11 月 28 日に開催された第 3 回橋梁模型コンテスト四国大会の上位入賞者へのインタビューを行い、大変有意義かつ楽しく研修会を終えることができた。

研修会(13:30～17:00)



高知県橋梁会会長の右城猛氏による開会の挨拶



2 番目の講演は構営技術コンサルタント(株)の野中拓氏により「土砂災害警戒情報について」と題し、実際の土石流の映像を踏まえ土砂災害警戒情報には高知県の AND 方式や山口県の連携案方式があると、大雨の実例を示し具体的な説明があった。(14:15～14:40)



1 番目の講演は、東京ファブリック工業(株)の吉野伸氏により「橋梁耐震補強による補修製品」と題し、橋梁補修用の製品紹介や現地調査状況、支承交換の施工手順等の具体的な説明があった。講演中に震度 3 の本当の地震があり参加者全員がヒヤリとする場面もあった。(13:40～14:15)



3 番目の講演は四国地域イノベーション創出協議会の濱田学氏により「中小企業の活路を開くため

の支援制度」と題し、中小企業支援策の特徴や新事業で活路を拓く経営革新、早期着手が成功の鍵である事業承継、企業相談等の詳しい説明があった。

(14:40~15:20)



4番目の講演は(株)構造メンテックの安見和夫氏により「土木構造物における小規模補修の現状」と題し、四国内で実際調査したコンクリート構造物の現状にふれ、補修工事の報告内容や現状問題点について事例写真を取り上げながら詳しい説明があった。(15:30~15:55)



5番目の講演は、(株)四電技術コンサルタントの武山正人氏により、「土木技術者としての私の経験」と題し、橘湾発電所、本川発電所、柳谷発電所における計画・設計・施工に活用された技術について発電所完成までにおける壮大なスケールの経験談のお話と、またその他のトピックスとして過去の著名な事故例のお話をいただいた。

(15:55~16:45)

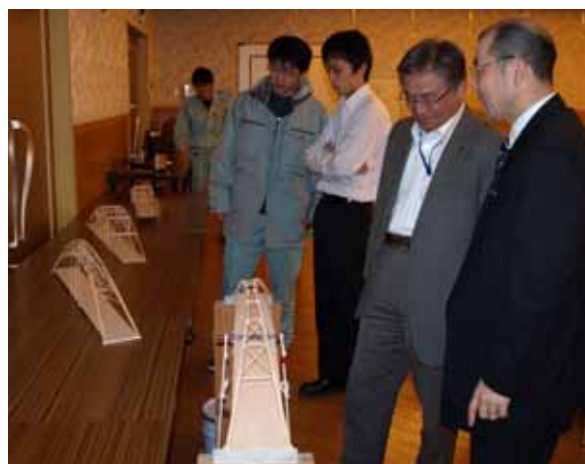


熱心に聴講する57名の参加者。



最後に第3回橋梁模型コンテスト四国大会の上位入賞者に模型製作の苦労話をしてもらい、コンテストの内容等色々な質問に答えて頂いた。

右側が最優秀賞に輝いた藤田明久君、左側が優秀賞に輝いた佐野弘治君(16:45~16:55)



熱心に橋梁模型を見つめる参加者。左手前が最優秀作品、左中央が優秀作品。左奥は去年の最優秀作品



第3回橋梁模型コンテスト四国大会で重さ17kgの载荷に耐え最優秀賞に輝いた藤田明久君の作品。



お酒が入っていつもの歓談の様子



吉田幸男橋梁会副会長による閉会の挨拶

忘年会(17:30 ~ 19:30)



12月の研修会の後は忘年会が恒例になっている。会場を高知会館の平安の間に移して、講師も一緒になって和気藹々の雰囲気の中で懇親を深めた。忘年会への参加者は30名であった。